

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	(項目)運営に関する利用者家族等意見の反映一部の家族から、施設長の志の高さとスピードに、心配する声があった。今後は利用者の家族に今の状況と近い将来のありかたを十分説明し常に発信して継続していくこと。	ホーム運営の過度な活発さが気になったり、施設長のお年寄りの希望の受け止め方や対応の早さが、お年寄りのペースに合わないことや介護職員の疲労につながらないかとの心配かと思われます。が、お年よりは認知症になっても、ADL全介助状態になっても心身ともにエネルギーである為、今後は更に個々の状況にあわせた対応に心がけていきます。また、お年寄りから希望が出たことは、極力間をおかず実施していくことは、人生最期をホームで過ごすお年寄りには長期間待つ余裕はないことを、過去の実践から体験的に学んできた為に行っています。今後は、ご家族の希望も確認しながら進めてまいります。	お年寄りには毎月の寄り合い会で、家族には家族会と運営推進会議、ホーム便りや面会時に、職員には毎月のスタッフ会議で、より多くのコミュニケーションの時間をとりながら進めていきます。	12ヶ月
2	13	(項目)災害対策 予想される富士山噴火への備えとして、利用者の受入場所や交通規制等、自治体と現実的な策定について話し合いが望まれる。また、ガムテープやゴーグル、マスク等の備えをすること。	富士山噴火想定防災訓練や、行政の防災計画を参考にしながら防災対策を進めていきます。防災備蓄品のうち、ガムテープとマスク、ゴーグルの整備を進めていきます。	今後は、当ホームの防災対策マニュアルを策定することとしており、この中で課題の対応を検討していきます。	6ヶ月
3					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。